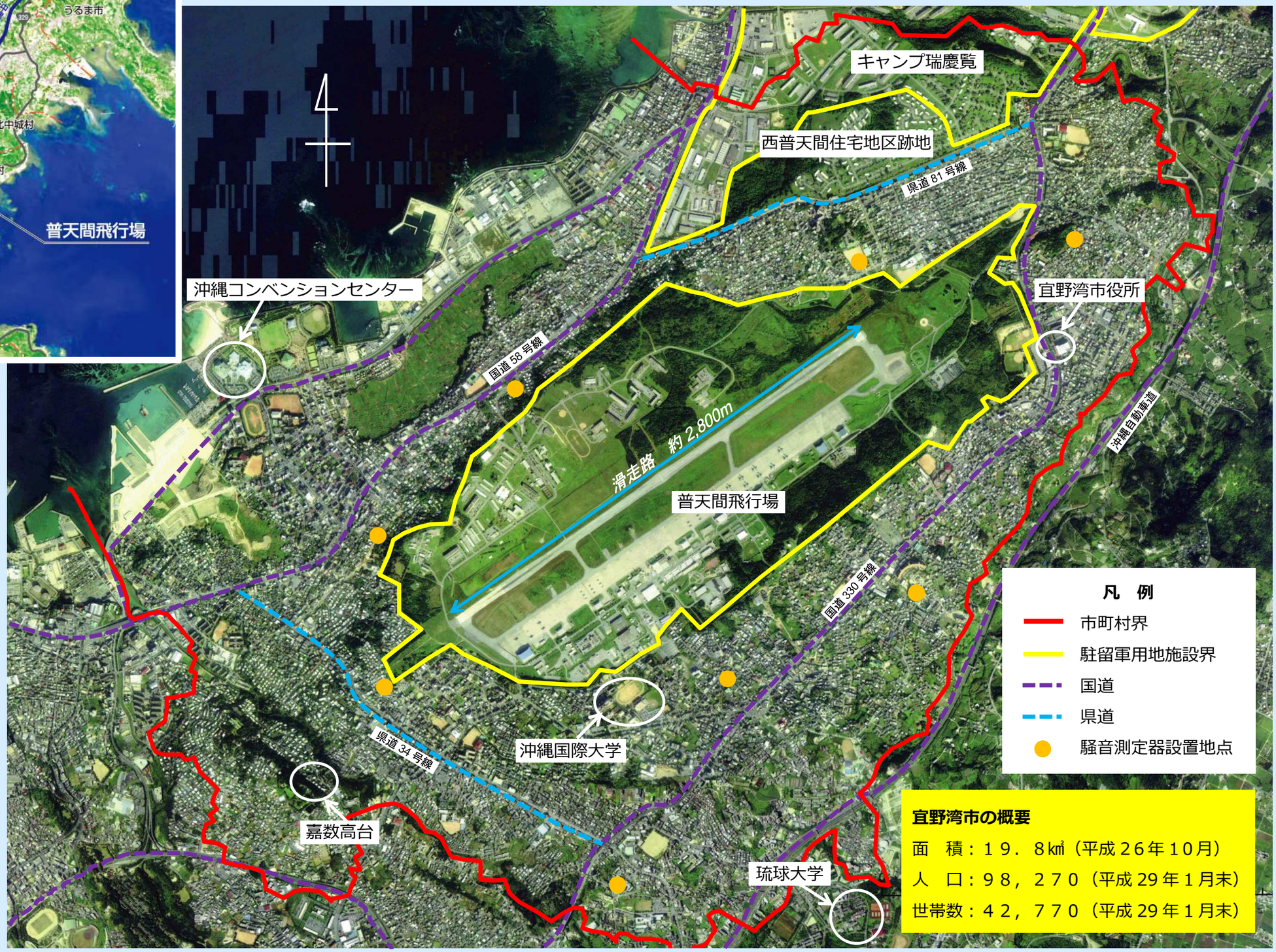
普天間飛行場の周囲には学校や公共施設などが約120ヵ所存在し、市民は絶えず墜落の危険性と騒音被害などの基地被害にさらされております。

宜野湾市は、沖縄県中南部に位置し、南部と中部を結ぶ交通上の要所となっております。また、平坦な土地が少ない中南部地域においては大きな利用価値を秘めています。

しかしながら、普天間飛行場がまちの中心部に位置しているため、いびつな都市形成をせざるを得ず、市民生活・市財政に大きな影響を及ぼしております。




**全面返還合意の原点は、危険性の除去および基地負担軽減であり、**
**普天間飛行場の固定化は絶対にあってはなりません**